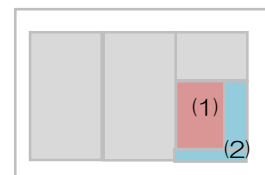


<2年生対象>

2S2タームの成績表の見方について



(1) 必要単位数・取得単位数・不足単位数

「必要単位数」：進学選択が可能となる条件

- 1) 既修外国語・初修外国語（文科生・理科生） それぞれ平均点が40点以上
- 2) 初年次ゼミナール文科又は理科 （文科生・理科生）2単位
- 3) 社会科学（文科生）
文科一・二類生：4単位（2018年度以降入学の文科一類生は「法Ⅰ」または「政治Ⅰ」の2単位を含む）
文科三類生：2単位
- 4) 人文科学（文科生）2単位
- 5) 基礎実験（理科生）3単位（任意選択科目除く）
- 6) 数理科学（理科生）
理科一類生：6単位（2018年度以降入学の理科一類生は「数理科学基礎演習」1単位および「数学基礎理論演習」1単位を含む）
理科二・三類生：5単位（任意選択科目除く）
- 7) 物質科学（理科生）：「力学」2単位、「熱力学」又は「化学熱力学」2単位、「物性化学」2単位
- 8) 生命科学（理科生）
2016年度～2017年度入学者（理科一類生）：1単位（「生命科学」1単位の取得）/（理科二・三類生）：2単位
2018年度以降入学者（理科一類生）：1単位（「生命科学」1単位の取得）
（理科二・三類生）：「生命科学Ⅰ」2単位の取得
- 9) 総合科目（文科生・理科生）文科一・二類生：11単位（L系列の5単位含む）
文科三類生：13単位（L系列の5単位含む）
理科生：8単位（L系列の2単位含む）
- 10) 総取得単位数 文科生：46単位/理科生：53単位

※ 2Sセメスター終了時で上記の該当する条件を満たしていない場合は、進学選択の対象とならず、2Sセメスター終了時に自動的に降年となります。2S1ターム終了時（6月）は、進学選択の対象か否かにかかわらず、第一段階の進学志望・不志望登録ができましたが、**今回（8月）、進学選択の対象とならなかった場合は、登録済みの志望登録内容は削除されます。**

※ 2Sセメスター終了時の「必要単位数」は、2Aセメスター終了時までに必要な「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」とは異なります。

「取得単位数」：科目区分ごとに取得した単位数（「基本平均点」の行における「取得単位数」については後述）

- ※ ただし、平均合格している科目の単位数は、実際に取得している単位数と異なる場合があります。
- ※ 平均合格科目（「既修外国語」、「初修外国語」、「身体運動・健康科学実習」）は、各自、必要に応じて、『履修の手引き』に記載の平均合格の条件を参照し、対象科目の成績を確認すること。

「不足単位数」：実際の取得単位数のうち、「必要単位数」に対して不足した単位数

- ※ 外国語は平均点（40点以上）が条件のため、条件を下回った場合でも不足単位数欄には表示されません。
- ※ 2Sセメスター終了時の「不足単位数」とは、2Aセメスター終了時までに必要な「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」に対して足りない単位数ではありませんので、Aセメスターの履修時には留意する必要があります。

(2) 基本平均点・各科目区分の平均点

以下の単位を重率1として計算した基本平均点及び単位数が表示されています。
(実際の取得単位数とは異なる場合があるので注意すること)

★	文一	文二	文三	理一	理二	理三
基礎科目						
既修外国語 ※1	5	5	5	5	5	5
初修外国語	6	6	6	6	6	6
情報	2	2	2	2	2	2
身体運動・健康科学実習	2	2	2	2	2	2
初年次ゼミナール文科	2	2	2	—	—	—
社会科学 ※2	8	8	4	—	—	—
人文科学 ※3	4	4	4	—	—	—

基礎実験 ※4	—	—	—	3	3	3
数理科学 ※4	—	—	—	12	10	10
物質科学	—	—	—	10	10	10
生命科学	—	—	—	1	4	4
総合科目 ※5 ※6	21	21	25	15	15	15
計（取得単位数欄に記載★★）	50	50	50	56	57	57

【★注意】

- ★ 基本平均点計算において重率 1 で計算した科目の横には「*」を表示しています。
2 単位科目のうち 1 単位のみ重率 1 で算入する場合は科目の横に「△」を表示しています。
重率 0.1 で計算される科目は、表中の以下科目です。
系別の単位取得条件以外で 2S2 ターム・2S セメスターまでに単位取得した基礎科目
系別の単位取得条件以外で 2S2 ターム・2S セメスターまでに履修科目登録した展開科目
（社会科学ゼミナールは除く）・総合科目
- ★★ 「取得単位数」欄には、科類ごとに一律で、上表の「計」欄に記載の単位数（基本平均点の算出において重率 1 で算入された単位数）が表示されます。現時点での実際の取得単位数とは異なります。
なお、休学等により上表の計と異なる単位数が記載されている場合があります。

- ※1 英語・日本語以外を既修外国語として履修している場合は、6 単位で計算しています。
- ※2 社会科学は、科類の要件を含めて成績上位 8 単位（文三生は上位 4 単位）で計算しています。
- ※3 人文科学は、科類の要件を含めて成績上位 4 単位で計算しています。
- ※4 基礎実験および数理科学は、任意選択科目を除いた単位数で計算しています。
- ※5 総合科目は、文一・二生は成績上位 21 単位、文三生は上位 25 単位、理科生は成績上位 15 単位（いずれも系別の単位取得条件を含む）で計算しています。
- ※6 総合科目 D 系列「スポーツ・身体運動実習」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」、「スポーツ・身体運動実習Ⅰ（PEAK）」、「スポーツ・身体運動実習Ⅱ（PEAK）」については、基本平均点に算入されているのは、合わせて 2 単位までです。

進学選択が可能となるための
必要単位数・取得単位数・不足単位数

(例 文科一・二類)

科目区分	必要単位数	取得単位数	不足単位数	平均点
基礎科目	8	23		
既修外国語		5		
英語		5		72.20
初修外国語		4		
スペイン語		4		38.33
初年次ゼミナール	2	2		
社会科学	4	6		
人文科学	2	2		
総合科目	11	13		
L 系列	5	5		
合計	46	36	10	
基本平均点		50		53.86

外国語についてのみ、要件である平均 40 点を下回っても不足単位数には表示されません。この場合、平均点が 40 点を下回っているため、進学選択が可能となる条件を満たしていません。
平均合格は、9 月下旬（予定）の原評価（点数）公開以降にセメスター毎の平均合格条件も含めて、各自確認すること。

基本平均点計算に使用した単位数および 2S セメスター終了時点での進学選択における基本平均点
取得単位数は実際の取得単位数とは異なります。
（上記の【★注意】★★部分参照）

(例 理科二類)

科目区分	必要 単位数	取得 単位数	不足 単位数	平均点
基礎科目	18	44		
既修外国語		5		
英語		5		56.80
初修外国語		6		
フランス語		6		73.00
初年次ゼミナール	2	2		
自然科学	16	27		
基礎実験	3	3		
数理科学	5	12		
物質科学	6	10		
生命科学	2	2		
総合科目	8	9		
L系列	2	3		
合計	53	55		
基本平均点		57		57.11

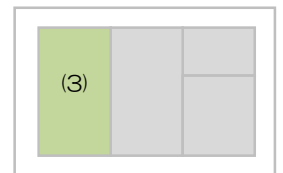
単位取得した基礎科目（情報、身体運動・健康科学実習を含む）。

平均合格の条件を満たしていない場合でも、科目ごとに全体の平均点が50点以上であれば、取得単位数が5単位もしくは6単位と表示されるため、実際に取得している単位数とは異なる場合があります。平均合格の条件は『履修の手引き』を参照してください。

展開科目・主題科目を取得している場合は、その単位数を含む（この場合、2単位分）。

(3) 平均合格科目の表示

平均合格科目は、9月下旬（予定）の成績の原評価（点数）公開以降に、各自、平均合格の条件を満たしているかを必ず確認し、次semesterで必要な科目の履修をすることになります。



<平均合格科目とその条件>（次ページ計算例および『履修の手引き』p.43参照）

※ 既修外国語（英語・日本語）単位数5単位：条件1.かつ条件2.

条件1、条件2のいずれも単位数を加味した加重平均による（次ページ計算例参照）。

条件1. 1Ssemester（1S1ターム・1S2ターム）～1Asemester（1A1ターム・1A2ターム）の成績の平均が50点以上

条件2. 1Asemester（1A1ターム・1A2ターム）の成績の平均が50点以上

※ 既修外国語（英語以外）および初修外国語 単位数6単位：条件3.かつ条件4.かつ条件5.

なお、既修日本語を初修外国語相当で履修している場合もこの条件で考えます。

条件3. 1Ssemesterの成績の平均が40点以上

条件4. 1Asemesterの成績が40点以上

条件5. 1Ssemester～1Asemesterの成績の平均が50点以上

※ 身体運動・健康科学実習 単位数2単位：条件 2つの実習の成績の平均が50点以上

(例)

科目	教員	開講期間	単位	成績
既修外国語				
英語			5	可
*英語一列①	×× ××	22.04～22.05		優
*英語一列②	×× ××	22.10～22.11		不可
*英語二列W	×× ××	22.04～22.07		良
*英語二列S	×× ××	22.11～23.01		欠席

マイナス表示もなく、「可」と表示されている場合でも、平均合格していないケースがあります。

1Asemesterの成績の平均が50点未満の場合、不足単位については2Sもしくは2Asemesterに「他クラス聴講」をする必要があります。

この場合、5単位「可」の表示があっても、1Asemester科目が50点を下回っているため、**平均合格していません。**
【注意!】

初修外国語				
スペイン語			-2	-38
*スペイン語一列①	×× ××	22.04~22.07		可
*スペイン語一列②	×× ××	22.10~23.01		欠席
*スペイン語二列	×× ××	22.04~22.07		可
身体運動・健康科学実習			2	良
*身体運動・健康科学実習	×× ××	22.04~22.07		良
*身体運動・健康科学実習	×× ××	22.10~22.01		良

マイナス表示になっている場合、**不足単位数と、平均合格に対する不足点を意味します。**
 この場合、平均合格に必要な150点(3科目×50点=150点)に対し、38点の不足を表しています。

「英語」は1単位科目と2単位科目(英語二列W)が存在するため、平均合格に必要な250点(5単位×50点)に対し何点不足しているかを表しています。

平均合格の対象科目は、講義ごとの単位数は表示されません。

原評価(点数)に基づく平均合格の確認方法は以下のとおりです。

(例)

科目	開講期間	単位	成績
英語一列①	22.04~22.05(1S1)	1単位	50点
英語一列②	22.10~22.11(1A1)	1単位	55点
英語二列S	22.06~22.07(1S2)	1単位	60点
英語二列W	22.10~23.01(1A)	2単位	43点

◎条件1.

1Sセメスター(1S1ターム・1S2ターム)~1Aセメスター(1A1ターム・1A2ターム)の成績の平均が50点以上

【計算式】

$$\frac{(50 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (55 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (60 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (43 \text{ 点} \times 2 \text{ 単位})}{1 \text{ 単位} + 1 \text{ 単位} + 1 \text{ 単位} + 2 \text{ 単位}} = 50.2 \text{ 点}$$

◎条件2.

1Aセメスター(1A1ターム・1A2ターム)の成績の平均が50点以上

【計算式】

$$\frac{(55 \text{ 点} \times 1 \text{ 単位}) + (43 \text{ 点} \times 2 \text{ 単位})}{1 \text{ 単位} + 2 \text{ 単位}} = 47 \text{ 点}$$

この例の場合、
条件1 満たしている
条件2 満たしていない
→平均合格はしていない